



# 平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 株式会社アルペン

上場取引所 東名

コード番号 3028 URL <http://www.alpen-group.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 泰三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 水巻 泰彦

TEL 052-559-0125

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日

平成24年3月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	96,291	2.8	5,761	5.5	6,288	9.9	2,682	8.8
23年6月期第2四半期	93,671	2.0	5,462	62.7	5,724	53.3	2,465	49.8

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 2,651百万円 (10.4%) 23年6月期第2四半期 2,402百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	66.27	—
23年6月期第2四半期	60.89	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	169,528	97,968	57.8
23年6月期	156,984	95,924	61.1

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 97,968百万円 23年6月期 95,924百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年6月期	—	15.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,257	4.5	10,773	3.0	11,302	0.4	5,236	25.8	129.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	40,488,000 株	23年6月期	40,488,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	515 株	23年6月期	515 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	40,487,485 株	23年6月期2Q	40,487,523 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州債務危機などを背景とした海外景気の下振れリスクや円高の長期化、雇用情勢が依然として厳しく推移するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

スポーツ・レジャー用品業界におきましては、消費者の健康への関心が一層の高まりをみせる中、ウォーキング、サイクリングなどの手軽に始められるスポーツの需要が高まるとともに、市民マラソン大会が各地で企画されるなど、ランニング市場が拡大しております。また、節電志向の高まりをうけて、夏は冷感機能、冬は発熱保温機能のウェアが広く普及いたしました。

このような状況の下、当社グループは引き続き拡大が見込まれる一般スポーツ市場においてプライベートブランド商品の開発を強化しております。歩くだけでエクササイズ効果の高まるトーンニングシューズ、日焼け止めローションやサプリメントを新規開発するとともに、低価格なウォーキング・ランニングシューズの品目数を増やすなど、競合他社との差別化および収益力の強化をはかってまいりました。

主な商品部門別の概要としましては、ゴルフ用品につきましては、震災の影響で減少したゴルフ人口が徐々に回復する中、お客様に最適なクラブをお勧めするフィッティングサービスを強化するなど固定客の確保に努めるとともに、店舗外で行うクラブ試打会の開催や、市場調査に基づく価格競争力を打ち出した販売活動を推進した結果、クラブの購入比率が高まるなど好調に推移いたしました。

一般スポーツ用品につきましては、ランニング用品の全国的な需要の高まりによりランニングシューズおよびウェアが好調に推移するとともに、通勤やレジャーで使用するスポーツタイプの自転車の需要が拡大いたしました。また、当社のプライベートブランド商品、涼感ドライウェア「i COOL (アイクール)」や吸湿発熱ウェア「i HEAT (アイヒート)」が売上を伸ばしたことで、全体的に良好な結果となりました。

ウィンター用品につきましては、11月まで温暖な気候が続いたことでスキー商戦の立ち上がりが遅かったものの、12月中旬からの本格的な積雪によりスキー場が順調にオープンしたことで売上は回復いたしました。

利益面におきましては、ゴルフクラブの価格競争の激化により売上総利益率が低下いたしました。店舗作業の見直しや節電等によるコスト抑制に努めた結果、営業利益、経常利益ともに増益となりました。

店舗の出退店の状況につきましては、「アルペン」1店舗、「ゴルフ5」4店舗、「スポーツデポ」3店舗を出店し、「アルペン」2店舗、「ゴルフ5」2店舗を閉鎖した結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は「アルペン」78店舗、「ゴルフ5」188店舗、「スポーツデポ」102店舗の計368店舗となり、売場面積は前連結会計年度末に比べ3,298坪増加し206,047坪となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は96,291百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益5,761百万円（同5.5%増）、経常利益6,288百万円（同9.9%増）、四半期純利益2,682百万円（同8.8%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12,544百万円増加し、169,528百万円となりました。

主な要因は、商品及び製品、現金及び預金、有価証券および受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ10,499百万円増加し、71,559百万円となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金および未払金が増加したことによるものです。

純資産は、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ2,044百万円増加し、97,968百万円となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ4,520百万円増加し、30,277百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は10,064百万円（前年同期比14.6%減）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額5,545百万円および売上債権の増加額1,259百万円により資金が減少した一方、税金等調整前四半期純利益6,140百万円および減価償却費2,338百万円の計上ならびに仕入債務の増加額9,776百万円により資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は3,793百万円（同8.8%増）となりました。これは主に、出店等による有形固定資産の取得による支出2,748百万円、差入保証金の差入による支出517百万円および有価証券の取得による支出500百万円によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は1,724百万円（同27.8%減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出300百万円、リース債務の返済による支出413百万円、会員預り金の返還による支出287百万円および配当金の支払額607百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね前回発表（平成23年8月5日）の業績予想の範囲内で推移しており、現時点において業績予想の変更は行っておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,500	28,282
受取手形及び売掛金	4,489	5,748
有価証券	500	2,000
商品及び製品	41,027	46,531
その他	5,693	5,339
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	76,201	87,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,867	58,782
減価償却累計額	△31,124	△32,482
建物及び構築物 (純額)	25,742	26,300
その他	22,793	24,230
減価償却累計額	△6,929	△7,565
その他 (純額)	15,863	16,665
有形固定資産合計	41,606	42,965
無形固定資産	1,459	1,312
投資その他の資産		
差入保証金	22,981	22,627
その他	16,532	16,519
減価償却累計額	△1,680	△1,673
その他 (純額)	14,851	14,846
貸倒引当金	△116	△116
投資その他の資産合計	37,716	37,356
固定資産合計	80,782	81,634
資産合計	156,984	169,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,548	36,397
未払法人税等	3,663	3,597
引当金	2,458	1,760
その他	13,458	16,962
流動負債合計	48,129	58,717
固定負債		
長期借入金	2,000	1,700
引当金	1,670	1,634
その他	9,259	9,506
固定負債合計	12,929	12,841
負債合計	61,059	71,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,163	15,163
資本剰余金	21,663	21,663
利益剰余金	59,251	61,327
自己株式	△0	△0
株主資本合計	96,077	98,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	11
繰延ヘッジ損益	1	△7
為替換算調整勘定	△168	△189
その他の包括利益累計額合計	△153	△184
純資産合計	95,924	97,968
負債純資産合計	156,984	169,528



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	93,671	96,291
売上原価	50,985	53,501
売上総利益	42,686	42,790
販売費及び一般管理費	37,223	37,028
営業利益	5,462	5,761
営業外収益		
不動産賃貸料	440	375
その他	466	579
営業外収益合計	906	954
営業外費用		
不動産賃貸費用	274	211
為替差損	165	140
その他	204	75
営業外費用合計	644	428
経常利益	5,724	6,288
特別利益		
固定資産売却益	1	1
預り保証金償還益	7	2
その他	11	0
特別利益合計	20	5
特別損失		
減損損失	16	110
災害による損失	—	33
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	628	—
その他	13	9
特別損失合計	658	153
税金等調整前四半期純利益	5,087	6,140
法人税、住民税及び事業税	2,621	3,457
少数株主損益調整前四半期純利益	2,465	2,682
四半期純利益	2,465	2,682

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,465	2,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△1
繰延ヘッジ損益	△34	△9
為替換算調整勘定	△32	△20
その他の包括利益合計	△62	△31
四半期包括利益	2,402	2,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,402	2,651

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,087	6,140
減価償却費	2,165	2,338
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△88	△194
差入保証金等の家賃相殺額	575	454
受取利息及び受取配当金	△120	△118
支払利息	57	68
デリバティブ評価損益 (△は益)	134	△89
減損損失	16	110
災害損失	—	33
預り保証金償還益	△7	△2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	628	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,294	△1,259
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,360	△5,545
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,651	9,776
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△187	△166
その他	1,827	2,387
小計	13,085	13,931
利息及び配当金の受取額	21	15
利息の支払額	△49	△52
災害損失の支払額	—	△342
法人税等の支払額	△1,311	△3,515
法人税等の還付額	41	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,788	10,064

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,400	△300
定期預金の払戻による収入	1,100	300
有価証券の取得による支出	—	△500
有形固定資産の取得による支出	△2,333	△2,748
無形固定資産の取得による支出	△316	△101
長期前払費用の取得による支出	△129	△57
差入保証金の差入による支出	△585	△517
差入保証金の回収による収入	180	129
その他	△2	1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,486</b>	<b>△3,793</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50	84
長期借入金の返済による支出	△1,011	△300
社債の償還による支出	△300	△200
会員預り金の返還による支出	△320	△287
リース債務の返済による支出	△196	△413
配当金の支払額	△607	△607
その他	△4	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,390</b>	<b>△1,724</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△108</b>	<b>△25</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,803	4,520
現金及び現金同等物の期首残高	18,384	25,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,188	30,277

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。